



地震のときどんな建物が危険なの

弱い地ばんの上に建っている、古い建物

鉄筋コンクリートの建物は、じょうぶですが、木造の建物でも、新しい建物や、よく手入れがいきとどいている建物は、地震に対して安全です。

弱い地ばんの上に建っている建物や、建ててから、かなりの年数がたっている建物は、地震が起こったときに危険です。ふだんから、柱や土台などをよく調べて、弱い部分を補強するようにしておきます。

土台や柱、はりの部分などがいたんだり、くさっていたりしている建物、シロアリにおかされた建物、過去に、ゆか下が水びたしになった建物、それに、低くてじめじめした土地に、建てられているものは危険です。

かべが少ない建物

建物のつくりで危険なのは、凸凹の多い複雑な建物、かべが少なく、部屋が広いものや、向かいあっているかべとかべの間が、広い建物などです。特に、かべや柱を取りはらって、部屋を広くしたものは危険です。

また、2階以上の部屋に、ピアノやたくさんの本、重いものなどが置いてあると、建物がたおれやすくなります。（監修・国司 真）

